

中西小だより

弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第22号 令和6年10月29日



キラキラタイム



今年度は金曜日の朝にキラキラタイムを設け、コミュニケーション能力を高めるため、他者と関わる活動を積極的に行っています。10月25日(金)には、4～6年生を対象に、養護教諭の神谷先生のご指導で、友達の誘いへの断り方を考える活動を行いました。

「私用があるが、遊びの誘いを受けた場合の断り方」「まだ読んでいない本を貸してほしいと言われた際の断り方」など、子どもたちの日常によくある出来事を取り上げ、あなたなら何と言って断るかをグループで考えました。そして、大切なのは、自分がどんな影響を受けるかを伝える、自分の気持ちを伝える、別の方法を提案するなど、相手の気持ちを害さずに伝えられるとよいことを学びました。「無理、無理、無理」「ダメダメ」など、少ない言葉で相手に伝えることは、相手のことを考えない伝え方で、誤解されることにもなります。とすると、短い言葉でスタンプ化して話し、相手にこちら側の状況を想像させがちなところもありますが、正しく伝わらないことがあり、捉え違いからトラブルに発展することもあります。今回の学びが子どもたちの日常に生かされるとよいです。



サツマイモを食べました！



1、2年生が、先日収穫したサツマイモでサツマイモスティックを作り、食べました。子どもたちは身支度をした後、やけどに気をつけながら調理しました。フライパンを使って、バターを溶かしてからサツマイモを棒状にカットしたものを炒め、メープルシロップをからめてできあがりです。自分たちで作ったものは、とてもおいしかったようで、満面の笑みで食べていました。

